

明治十二年三月十九日

農商務省專賣特許局印鑄版

時事報

諸外國人に日本來遊を勧むるの廣告 高橋義雄

我日本國にて追て條約を改正して外國人に内地雜居を許するに至らば外國人の商賣の爲め興業の爲め將る觀念、養の爲めドヤーと我國に渡來す可きや或は來客思ひの外に少なくして兼ねて待ち設けたる程の大入と取ると能はざるや是れ實に未來的一大疑問として關係する所小からざるが故に我輩の諸外國人に接して何かの詰次に此疑問を試むるも毎度の事なりしが或は來客多る可しと答へ或へ豫期の半數にも達せざる可しと云ふ者もあり畢竟歐米人が此一疑問に對して其答を區々にするものゝ其柄も同之からず其身柄も同之からず隨て其所知所見の境遇相異あるが故にして各其所知所見に附せるの趣なきに非ざれば我輩の今姑く其可否を判断すると止め扱つていよ／＼内地雜居を許すより我日本國の爲め謀りて外國人の渡來の多きと少きと果して孰れを撰む可きやと云へば勿論誰れも其名きを撰むとあらん斯くて來客の多きを望めば亦隨て之を多くするの方法を講ぜざる可らず而して其方法ハ今後我内地の物産として歐米人の需要に適せしめて其商賣取引の區域を廣むる事、又外國人が内地に入りて通商起業の事を行ふに當りて成る可き丈けの便利を與ふる事等固より種々様々にして彼の亞細亞博覽會を開設するなども亦其方法の一あらんと雖ど此等の迅入りたる方法を外にして我輩が一寸思附さる一方向へ日本政府の筋よりするか又は有志有金者の申合せよて今より世界各國の新聞紙上に廣告して諸外國人に聞かれては其方法の一部らんと雖ど此等の文を認められれば之と左に掲載す可し

諸外國人よ日本來遊を勧告す
太平洋の西に極樂園あり日本國と稱す溫帶の氣候身に適し、四時の風光心と樂ましめ、盛夏熱して燐かず、嚴冬寒して酷ならず、春風秋月興に入らざるものあり、獨り夫のみあらず人口の稠密よして其氣風の温和濃厚ある百花の春風に吹かるゝ如く、其洒落清雅あるは秋江の水の流るゝが如し、厚情能く異郷の客と遇し、快活常に交際の趣を解し、居は清淨にして潔癖の民と稱せられ、物は廉にして生計の難を覺えず、近年追々鐵道も成りて行樂に便なるに隨ひ試みに入りて見れば山林泉石の奇妙なる殿堂臺榭の風雅なる文人ば以て吟情を養ふべし若夫大内海の美觀、竹島松帆舟行窮まるが如くにして忽ち又際なき適し忽ちにして白砂青松忽ちにして菜畦麥圃、景物の變、一步より多くして比中にに入るものは自ら顧みて舊中の人たるを覺ふべし若夫大内海の美觀、千葉松帆舟行窮まるが如くにして忽ち又際なきの風致に至りて歐米諸国人の此に來遊するもの既に此地球上には到る處に蒸汽船車の便ありて天涯比隣も啻ならず米國よりの半月餘、歐洲諸國よりも亦一箇月少餘として此樂園よ達すること得べければ最も行樂の實に乏しからざるものい僅かに數箇月の闊と倫み老少男女相携へて此に來て其風景と玩び又

時としては温泉に浴して病を治し又氣と養ひ以て其生を永くすべし日本國の官民は成る可き丈けの好意を以て喜んで遠來の客を待つものなり

日本政府の其向きの者か又は我有志有金者の思附にて大抵右様の文意の廣告文と認め之を各國語に翻譯して各國の新聞紙上に廣告を置き切て日本の方にては官民に對して大れ／＼の旅館に案内し通辨人の雇入、内

所柄には仮令へ美麗と云ふ程に非ざるも清潔にして

睡眠に差支えざる位の旅宿を設け置き又豫先地方の人

に於て日本に淹遊する其間に船車の賃錢、飲食の代價等と殊に法外に貪ると禁じ又行路の由る所へ總て遊覧を自由にして其樂の興を添え或ひ又

内海の如く船便の多き處にて外國人の望に應じて時

々遊覧船を發走故に迂路を取りて風景賞玩の便も供

する等成る可き丈けの便利を與へたらんには遊賓に乏

志らざる外國人ハ追々之を傳説して來遊するもの多く

五月三月日本に淹留する其間に氣候は清朗よして寒

暄宜を得、林泉堂宇の勝到る處に目を娛ましめ衣食住

の度は左々を高しと云ふにはあらねど人民一般に清潔

を養び居室器具常に能く拂拭して一點塵をも留先ざる

のみか老幼男女一日に幾回となく手と洗ひ一週間

の度は左々を高しと云ふにはあらねど人民一般に清潔

を養び居室器具常に能く拂拭して一點塵をも留先ざる

のみか老幼男女一日に幾回となく手と洗ひ一週間